

部門国際賞を受賞して



白石 俊彦
横浜国立大学

この度は栄えある部門国際賞を賜り、誠にありがとうございます。

機械力学・計測制御部門は、国際連携が非常に活発です。私は、本部門が関わる MoViC 2020 の Program Committee Chair, 第 5 回 JK シンポジウム (2017 年) の Organizer, MoViC 2014 の General Secretary を務めさせていただきました。また、日本機械学会の国際連携委員会の委員を継続的に務めさせていただきました。

連携した国々はアジアが主ですが、政治的にはよい方向へ進めるのが難しい国でも、学術連携では、先方の国の方々から非常に積極的かつ相手の立場を尊重しながらのご対応をいただき、建設的に進めることができました。これは、本部門や本学会の諸先輩方が、各国およびその一人一人と誠実に継続的に築いてきた強固な信頼関係の下に成り立っているということを実感しました。今後も、信頼関係をより強固にする努力を忘れてはならないと切に思いました。

国際会議の運営などでは、当然ですが大変なこともあります。このようなことを共有して一歩ずつ歩みを進める中で、先方の国の方々や、さらに実行委員会の方々との絆が深まったように思いました。一方、過負荷に感じたときには、そのときの各自の Work & Life の状況に応じて、困ったときはお互い様の精神で、気軽に助け合いながら進めるのがよいとも思いました。それを支える強固な信頼関係は、上記に示した国際的なものだけでなく、部門内にもあります。

このような賞をいただけたのは、ひとえにご指導・ご鞭撻いただいた先生方のおかげにほかなりません。特に、上記の各国際会議の General Chair や委員会の委員長であった、渡辺亨先生、河村庄造先生、西村秀和先生、成田吉弘先生には、感謝申し上げますとともに、ご一緒にお仕事をさせていただく中で、先生方の Vision とそれを実現するための Work の仕方を学ばせていただきました。さらに、その Vision & Work に対して、私自身の Original な Vision & Work をどのようにもつかを考えるきっかけを与えていただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

今後の機械力学・計測制御部門の国際連携の益々の発展を祈念しつつ、御礼のご挨拶とさせていただきます。